

NO, 砂丘地砂防林環境整備推進協議会



地域(庄内) 活動地

北は月光川から南は日向川までの、おおよそ 12km の砂丘地砂防林内

団体紹介

設立年月：平成9年11月

設立の目的：先人が苦勞して植林したクロマツ林が荒廃してきているため、地域住民、子ども達と一緒に保全する目的で設立した。

組織の構成：稲川・西遊佐・高瀬地区の33集落、町議会議員、農業生産組合、農業委員、森林組合、JA庄内みどり、地域住民代表、まちづくりセンターで構成している。

活動内容

I 後継者を育てる為の活動

1、街頭募金活動



(募金活動)



(看板の設置)

- 4年生が先輩の行った募金活動を引き続き実施し、この資金で松苗、樹幹注入の薬剤を購入し、実施予定です。
- 昨年、資金で植えた林を「なないろの森林」と名付け、見守っていきます。

II、4年生総合学習への協力

1、講話・野外学習



(講話)



(講話)



(野外学習)

- 体験実習の前に講話を行っている。
- 曾根原家が所有するクロマツ植え付け時の絵巻を鑑賞。
- 青塚海岸林内での学習

2、現場での体験実習



(枝打ち)



(植栽)



(樹幹注入)

- 藤崎小・高瀬小が一緒になり実施している。
- 植栽、樹幹注入は毎年秋に行っている。

III、ボランティア活動



(下草刈り作業)



(発生予察箱)



(ボランティアの日)

- 保安林内の植栽地を春・秋の2回、下草刈り作業を実施している。
- マダラカミキリ発生予察箱を2箇所設置し、観察を行った。
上藤崎は(6/15) 服部興野は(7/9)に発生した。
- 毎年12月第1日曜日を森林ボランティアの日と定め、枝打ちを行っている

活動を行っての感想

保全活動は永遠に続く活動であり、高齢化が進む中、若者の参加の啓蒙を続けて行くことが必要です。